

平成 30 年 6 月 25 日

各 位

会 社 名 マーチャント・バンカーズ株式会社
代表取締役社長兼 CEO 一 木 茂
(コード 3121 東証 2 部)
問合せ先 取締役 CFO 兼財務経理部長 高 崎 正 年
(TEL 03-5224-4900)

MBK ブロックチェーン株式会社の成長戦略について

当社は、100%子会社 MBK ブロックチェーン株式会社（以下「MBK ブロックチェーン社」という。）を平成 30 年 4 月 24 日付で設立し、ICO 実施支援事業やブロックチェーン全般に関するサポートサービスの展開を進めておりますが、MBK ブロックチェーン社自体、IPO を目指すこととし、IPO を前提とした組織体制の整備や資本政策を行いながら、事業の拡大を行ってまいりたいと考えております。

ICO は、数年前から行われ、昨年、急激に世界各地で広まった新しい資金調達手段であり、世界各国で投資家保護のための諸施策が行われています。日本は、仮想通貨に関して、昨年 4 月、改正資金決算法を施行し、世界に先駆けて法整備を行い、仮想通貨交換業者を登録制とする制度運用を開始しております。ICO についても、この資金決算法や金融商品取引法の規制に基づいて行うこととされており、日本において、これらの法規制に基づいた ICO 案件はこれからの話であります。

当社といたしましては、投機対象としてではなく、社会性の高い事業やインフラの整備のための新しい資金調達手段として、ICO に注目しております。ICO による資金調達について、多くの企業がニーズや関心を持っており、MBK ブロックチェーン社におきましても、数多くの相談を受けており、近々、具体的な案件をご報告できると思えます。

MBK ブロックチェーン社は、ICO のニーズがあり、ICO に適した資金ニーズを持つ多数の事業や企業に対し、仮想通貨交換業者との連携体制のもと、当局との相談や調整を行いながら、これを実現してゆくためのアドバイスやサービスを行うことにより、コンサルフィー等の形で収益を確保してまいります。

また、ブロックチェーン技術は、仮想通貨取引から、金融取引（フィンテック）などへの応用の取組みが開始されておりますが、今後、ありとあらゆる分野で活用されていく可能性が指摘されております。その一方で、ブロックチェーン技術の内容やその可能性については、世間一般的に、草の根的な理解はまだこれからといえます。

MBK ブロックチェーン社といたしましては、さまざまな、より身近な分野でのブロックチェーン技術の応用を研究し、さまざまな企業や事業での活用を提案するとともに、勉強会や講演会などを通じ、ブロックチェーン技術をわかりやすく広めていく活動を通じ、収益を確保してまいります。

このように、ICO やブロックチェーン技術は、大いなる可能性を持ったテーマであり、これらに対し、IPO を前提とした成長戦略を持って取り組み、MBK ブロックチェーン社に、その情報や人材、事業パートナーを集積し、その普及に取り組んでまいり所存でおります。

なお、6 月 22 日付で、当社投資先である BTC ボックス株式会社が関東財務局長より業務改善命令を受け、同社は、適正かつ確実な業務運営を確保するための管理体制の構築に努める

こととしております。当社は、引き続き BTC ボックス株式会社と協業してまいりますが、MBK ブロックチェーン社の事業展開におきまして、同社以外の仮想通貨交換業者とも協業を行ってまいります。

したがって、今回の BTC ボックス株式会社に対する業務改善命令の影響は、MBK ブロックチェーン社には一切ございません。

以 上